

ISHIDA まちづくり ニュース

第93号(平成24年3月) (株)石田技術コンサルタンツ

「手づくり郷土賞」にみるまちづくり

平成24年1月20日に平成23年度「手づくり郷土賞」の選定結果が発表されました。

「手づくり郷土賞」は、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、表彰するとともに、好事例として広く紹介することにより、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。なお、「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、平成23年度で26回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

今回のまちづくりニュースでは、「手づくり郷土賞」の選定地区の内容を確認し、今後のまちづくりの在り方を考察します。

平成23年度手づくり郷土賞(一般部門) 選定地区の概要【12地区】

事業名称	市町村	事業概要
えりもの地域資源の掘りおこしと活用 ～猿留山道を中心に～	北海道 えりも町	「えりも町郷土資料館N42°の会」は、「猿留山道」を中心としたえりも町の特異な地域資源を掘り起こし、地域内外のボランティアによる山道の復元や維持管理活動、町内広域の散策路(フットパス)整備を行っています。さらに地域資源を活用した体験学習の実施、海岸緑化への協力など様々な活動により、地域住民にふるさとえりもの原風景を伝えるとともに、観光地としての価値を高め地域活性化に寄与しています。
災害復旧後の河川敷及び堤防を利用した地域活性化事業	栃木県 那須町	「余笹川流域連携ネットワーク」は、よささふれあい公園を主会場として、毎年川の日記念行事、環境調査、よささウォークのほか、「マスつかみどり」等イベントを実施しています。「川の日記念行事」は遠路住民の参加もあり、約400名参加、「よささウォーク」は他のイベントとタイアップする工夫により、参加者が年々増加し、H22年度は400名を超え、近年大きく発展しています。
野の川の再生 「清流よ永遠なれ」	東京都 江戸川区	「一之江境川親水公園を愛する会」は、夏期早朝清掃(参加者1,000名)、自然観察会(参加者150名)、秋の虫歌声鑑賞会(参加者70名)、秋の一斉美化運動などの活動を通じて、親水公園を訪れる多くの住民の自然空間に関する意識向上及びふるさと愛護心の啓発に大いに貢献しています。
流域学習・流域防災拠点を 目指す鶴見川駒岡河川敷	神奈川県 横浜市	「鶴見川流域ネットワーク」は、鶴見川とその流域の自然の賑わいを再発見し、川を軸に流域規模で安全・安らぎ・自然環境・福祉重視の町づくり・流域文化づくりを目指し流域活動を継続中です。河川敷での月1回の定例活動(清掃、草刈り、水辺体験支援等)や地元地域から河川敷を利用した地域づくりの相談を受けるなど幅広い活動を通じて、流域地域の交流や人的協力関係の強化に繋がるきっかけとなっています。
三条市民と大学の協働による 小さな里山づくり	新潟県 三条市	ポケットパーク整備実行委員会では、J R高架脇の不整形な残地に地域住民、地域の専門家、大学生が協働してまち中に年にひとつずつ里山の緑だけ移植して小さな里山(ポケットパーク)をつくるという協働のまちづくりを平成19年から始めています。年間を通して、計画、施工、管理までを一貫して行っており、緑を里山に求め、地元の材料を使い、作業は全てボランティアで行っています。参加住民は平成22年度には延べ813人を数え、大きな活動に育っています。

事業名称	市町村	事業概要
三国街道塩沢宿牧之通り (雪国の歴史と文化のまちづくり)	新潟県 南魚沼市	地元住民で構成される牧之通り組合は、平成13年の県道の街路整備を機に、沿線の建築物の外観・意匠の統一、色彩の制限などを定め、雪国の歴史と文化を活かす魅力あるまちづくりを推進しています。平成18年からは地元の女性を中心となり、各家庭のひな人形を公開する「ひな雪見かざり」を毎年開催しています。当初の9軒から平成23年（第6回）には、約60軒までになり、来客数も1,000人から30,000人に増加しています。地元中学生が観光ガイドとして参加するなど、次の世代に新たな企画や活動が引き継がれています。イベント以外でも牧之通りを楽しむ人など来訪者が増え、賑わいと交流活動が再生されています。
中山道「御嶽宿」景観修景プロジェクト	岐阜県 御嵩町	地域住民を中心に、御嶽宿地域再生構想（平成20年）、御嶽宿地域景観等整備指針（平成21年）を策定し、これらを受けて「みたけ地域活性化委員会」が主体となって、平成20年より手作りの景観修景をスタートしました。ゴミ集積箱の修景をまず第一歩とし、平成21年には名鉄「御嵩駅」駅舎等の修景、平成22年には地元高校との協働、平成23年にはソーラー発電による修景プロジェクトなど、活動が地域に根付き、幅広い年代層を巻き込みながら、着実に拡がりを見せています。
市民が創る緑の街道愛岐トンネル群 ～廃線トンネル再生中～	愛知県 春日井市	「愛岐トンネル群保存再生委員会」は、たくましく豊かに再生した自然と赤レンガのトンネルの共生をめざして、廃線の整備を行い、平成20年より一般市民向けの特別公開（春・秋の年2回）を行っており、当初は入場者も少なかったが地元紙に取り上げられ、公開日数29日で延べ4万人（1500人/日）を超える方が参加しています。
蘇った歴史の道岩国往来	山口県 岩国市	「岩国往来まちづくり協議会」は、街道を調査、復元しました。岩国往来の整備により発生した間伐材を材料に、駕籠立場や案内板の設置等は全て地元ボランティアの手づくりで行っています。復元した岩国往来を活用し年5回行う岩国往来ウォーキング、中学生が飛脚箱をリレーする飛脚リレー、三桝の植樹等を実施するなどのイベントを通じて沿道地域の連携が図られ、地域活性化に寄与しています。
「水」と「芸術文化」でまちづくりと人づくり	愛媛県 西条市	「うちぬき21プロジェクト」は、市民が誇れる「水と芸術文化のまちづくり」をテーマに、様々なイベント活動を実施しており、住民が一体となって、地域資源を活かした魅力向上に努めています。また、活動を通じて築き上げた絆により、「アクトピア水系」の清掃や「88クリーンウォーク四国」などのボランティア活動への参加など、地域資源を活かしたまちづくりにも積極的に取り組んでいます。
山国川発中津干潟水でつながる 自然と文化と私たち	大分県 中津市	「NPO法人水辺に遊ぶ会」は、自然観察会や学校教育の場での環境学習のサポート、体験学習を通じた啓発活動や、水環境保全のための独自の調査研究活動と情報の発信、郷土史の掘り起こしなどを通じて地域により良い関係づくりに寄与するとともに、「中津干潟」の存在を国内外から評価されるきっかけとなりました。
堀川運河の歴史と伝統を活かしたまちづくり	宮城県 日南市	堀川運河ふれあい文化交流促進協議会は、昔から伝わるチョロ船、弁甲筏流しなどの歴史的文化を再現させ、堀川運河や油津港のイベントで体験乗船運航等を行い、油津のまちの賑わいを創出しています。また、油津フェスタ、朝市など、多くのイベントを誘導や調整を行うとともに、近隣の商店街等と連携し堀川運河周辺への観光客や市民の誘導を促進しながら交流人口の増加を図るとともに、油津港港湾環境整備事業で整備された石積護岸や堀川運河沿いの緑地広場「夢ひろば」や「夢見橋」等の活用を行い、堀川運河を中心に昭和初期に栄えた港町の賑わいを取り戻しています。

「手づくり郷土賞」に選ばれたこれらの事例をみると、以下の点が共通しています。

- ①地域に関わる多種多様な立場の組織・人々が連携している。
- ②自主的な活動を継続し、発展させている。
- ③地域固有の資源を地元が認識し、積極的に活用する姿勢を自主的に持つ。

これらは、他地区のまちづくりでも大いに参考になると考えられます。特に、スタート時点で大きなイベント等を開催するよりも、地域等が主体的に出来ることから始めて、それを発展・拡大していく方法は非常に重要なまちづくりの展開方法であるといえます。

当社は、『コミュニティ・コンサルタント』として、地域主体のまちづくりについて、積極的に技術提案および技術支援致します。

お問い合わせ・ご意見は、

㈱石田技術コンサルタンツ まちづくり担当
TEL ; 0568-73-1085
FAX ; 0568-73-1099
e-mail ; hasegawa_n@itcnet.co.jp

までお願いします。

当社は、

「頼れる！まちづくりのパートナー」としての

『コミュニティ・コンサルタント』

を目指しています。



株式
会社

石田技術コンサルタンツ